

## 大崎町地域計画協議内容

地域名	新田地域	協議回数	第1回目
協議日	令和6年9月16日	場所	山村自治公民館
参加者	新田地域の担い手農家他 7名		
関係機関	大崎町（農林振興課・農業委員会）		
協 議 内 容			
<p>町の職員より地域計画の概要について説明。その後、地域の現状を説明し、地域における農業の将来の在り方などについて各課題の協議を行う。協議結果については公表資料のとおり。</p> <p>次に地図を見ながら農地の利用状況について確認し、目標地図の作成を行う。新田地域においては14名の担い手農業者がいるが、そのうち3名が10年以内に離農を考えているとの意向調査結果がでている。それに加え、現在は自作の方で今後は誰かに作ってもらいたいという意向の方が数名いらっしゃるため、今後空いてくる農地を今後は誰が作っていくかの協議を行うが、土地の所有者の意向・次期耕作者の意向もあるため、本日来ているメンバーだけでは次の耕作者は決め難い。目標地図の耕作者が設定できない農地については一旦保留とし、今後、本地域で規模拡大を考えてる担い手農家等を中心に、目標地図を見ながら耕作面積の拡大について検討する材料とするということとした。</p> <p>また、参加者から1筆毎の圃場が狭いため、1筆の面積の拡大をすると新規の担い手も参入しやすくなるのではないかという意見があり、そのために土手を取り除く補助事業がないかと質問があった。町では補助事業はないが、国や県の事業を確認することとした。</p> <p>その他、新田地域の60%以上が飼料用作物であることや、米の品種のばらつきがあるため、水管理が難しくなっているという意見も出た。</p> <p>その後、本日の内容をホームページ等で公表する旨を説明し、協議を終了する。</p>			